

(行政視察・政務活動・議員研修) 報告書

平成 29年 4月 7日

白石市議会議長 佐久間 儀 郎 殿

議員氏名 志村新一郎

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	平成29年 3月 30日(木)～ 3月 31日(金)
調査・研修先	衆議院第二議員会館 地下一階 第八会議室
調査事項 (研修事項)	1 平成29年度地方創生政策等について 2 今後の林業政策等について 3 スマートインターの新設、道の駅新設について 4 海老名市立図書館
対応者・講師等	まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官補佐・寺田仁史 農林水産省・国土交通省
概要 1 背景・目的 2 内容・特色 3 主な質疑 4 考察 (感想、課題、 政策提言等)	<p>1 地方創生の取り組みについて 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局内閣府地方創生推進室の資料により説明を受け質疑応答を行った。私達白石市でも地方創生の当初予算が上程され、今議会において質疑がなされた。今後において、人口問題が国においても白石市においても大変な問題となり、地方創生をいかに我が白石市に活かして行くか努力を重ね、行政と一緒に、魅力ある白石市、希望を持てる社会を作らなければならない。</p> <p>2 農林水産省 今後の林業施策について バイオマスなどの燃料を使用する発電所が今後設置されて行き、木材の更なる利用を図り、各県単位で整備されれば将来の林業が盛んになっていくと言う説明であった。</p> <p>3 一般国道四号 越河拡幅工事 スマートインターの整備 四号線の越河地区は、白石地区付加車線整備工事に関しては、今後速やかに施工して行きたいとの説明をうけた。 スマートインターは国の高速道路のICの間隔5キロ程度にして整備したいと言う話があり、また高速道路の改良やETCの設置までは国と高速道路機構が負担し、接続する一般道路は地方自治体の負担となるということだった。我々白石市議会としてもスマートイ</p>



ンターの特別委員会を設置して費用対効果などをふまえ、付近の自治体と共に利用を図り設置すべきと考える。

4 海老名市立中央図書館 蔦屋書店を運営するCCCに指定管理者として運用をしており、金額があまりにも高く、我が白石市には無理な政策と思う。指定管理料は5年間で約15億になるという説明があった。白石市の図書館は老朽化もしており、早くに整備しなければならないと思うが、もう少し安く出来る様な事を考えるべきと思われる。